

第76回中部日本高等学校演劇大会 速報

2023年12月23日(土)

上演① 岐阜県 岐阜農林高校
「烈—いきる—」(創作)

■本番を終えて

ちゃんとやり切れて、楽しく上演できてよかったです。

■脚本のねらい

戦争が続く今の世界で、烈火のように激しく生きることの意味を表現できるようにしました。

■演出の工夫

尊(たける)の人生に出てきた数々の道具が、最後に一つに組み合わせさせて玉座になることを狙いました。

■苦勞したところ

シーンごとの雰囲気が変わるところや、登場人物たちの感情の流れに気を付けるようにしました。

■ここだけの話

以前、自主公演の際に、尊役のキャストが演技中に役に入り込んで、舞台上で涙が止まらなくなりました。

■お客さんに一言

生きていく中で、つらくても自分の意見を通していかなくてはいけないときの、生きる意味や価値が表現できていたら幸いです。

第76回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報
(記事) 梅田、三浦